

VR認知症“体験”セミナー～認知症ご本人の視点を体験する～

- ◆実施日 令和3年12月2日（木）
- ◆会場 つがる市生涯学習交流センター「松の館」

株式会社シルバーウッド（千葉県浦安市）の黒田麻衣子氏をオンラインで講師に迎え、VR（バーチャルリアリティ）ゴーグルを着用し、認知症を自分ごととして”一人称”体験をしました。

参加者からは「認知症の方の不安な気持ちを知ることができた。話を“聴いて”もらえることが不安を取り除くのだと体感した」「認知症だから、と決めつけるのではなく相手の言っていることをよく聞き、本当に相手の立場になり接することが大事だと改めて感じた」「認知症を頭では理解しているつもりだったが、体験すると違うことに気づいた」等の感想がありました。



講師のいる千葉県浦安市と会場をオンラインでつなぎました。



参加者と講師の黒田さんとのやり取りもオンラインです。



VRゴーグルをつけると、上下・左右・前後すべてに映像が広がり、まるで自分がその場にいるかのような感覚になります。

声をかけられた方へ振り向いたり、興味のあるものを見る等体験者によって見る方向がバラバラです。

